



施設名	いなべ市立 笠間保育園
所在地	いなべ市大安町門前533
発注者	いなべ市
工期	平成24年6月22日 ～平成25年3月12日
規模	地上1階
構造	木造
延べ床面積	保育園棟 1682.72m ² 子育て支援センター棟 245.00m ²
工事費	562,432千円
木材利用量	411.00m ³
うち県産材利用量	355.00m ³
設計	株式会社アール・アイ・イー
施工	大宗建設株式会社

○木造選択の経緯

いなべ市では、平成24年に「いなべ市公共建築物等木材利用方針」を定め、市内に整備される公共建築物において率先して木材を利用することにより、環境や人に配慮した、安らぎと潤いのある施設づくりを進めています。

笠間保育園は、老朽化や耐震補強対策の必要があった2つの既存保育園を統合し、新たな園舎として誕生しました。新たな園舎の建設にあたり、木材が調湿性に優れ、断熱性が高く、リラックス効果があるなど、人にやさしく心安まる素材であることから木材を選択しました。

○設計上の方針・工夫

「子ども達が触れるものには木のぬくもりを」を設計コンセプトのひとつとし、構造材には燃えしる設計を用いて、柱と梁が室内からよく見えるように工夫を行いました。特に屋根架構は、各部屋の大きさに合わせた格子梁構造となっており、リズムカルに梁を見せることで、木材の魅力を引き出しています。

また、内装では、床材に無垢の杉を圧縮して表面硬度を高めた圧密フローリング、壁材にシナ合板、天井材にはOSB合板を採用し、床・壁・天井の全てで木に包まれた保育空間を実現しています。

○木材の仕様・調達方法

建物の柱、梁など構造材は三重県産材杉の集成材を指定し、使用しました。

また、その他の内装材や家具についても、三重県産材を積極的に使用し、「三重の木」や「あかね材」の優先利用にも努めました。